

キャラクター名 ビターヌ・ローンリア	プレイヤー名
-----------------------	--------

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	一般人	性別	男	年齢	29
冒険者Lv	11	経歴			
経験点	4040				

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	3	18		28 + 2	5	ファイター	11		
体	7	敏捷度	8	6		21	3	プリースト/ライフォス	11		
		筋力	7	12		26 + 2	4	ライダー	8		
心	7	生命力	5	11		23	3	ウォーリーダー	7		
		知力	8	11		26	4				
		精神力	12	11		30	5				

戦闘特技		タフネス	2122 p		p
		ルーンマスター	1B34 p		p
		武器習熟A/ソード	1B31 p		p
		両手利き	1B32 p		p
		二刀流	1B30 p		p
		マルチアクション	1B39 p		p
		命中強化	1B32 p		p
		武器習熟S/ソード	1B31 p		p
			p		p
			p		p
			p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
攻撃阻害	
タンデム	
HP強化	
高所攻撃	
人馬一体	
超高所攻撃	
特殊能力解放	
HP超強化	
神速の構え	
堅陣の構え	
鉄壁の防陣2：鉄鎧	
鉄壁の防陣2：堅体	
鉄壁の防陣3：甲盾	
鉄壁の防陣4：無敵	

名誉アイテム	点数
武器の専用化	150
戦旗槍	100
騎士位叙勲	150
名誉点 所持 1759 /合計 2159	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	11	16	14	15
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	イスカイアの魔導鎧		20		7
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値	14	8	

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ブロードソード 魔法の武器化	1H	15	1	2d+ 18	10	19	15										
スピア 戦旗槍「防御」加工、魔法の武器化	1H両	15	-1	2d+ 16	10	16	20										
ミスリルソード+1 魔法の武器化 銀製	1H	15	1	2d+ 18	10	19	25										

一般装備品	(消耗チェック)
レジェンドホースの専有証	○□□○□□
騎獣用甲冑	○□□○□□
騎士位叙勲金	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
所持金	184557 G
預金・借金	G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	21 m	63 m	2d+ 14	8	71

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	11	15			

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 12/×	2d+ 10	2d+ 14	2d+ 16	63

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	ライフォスの聖印
背中	
右手	怪力の腕輪
腰	ブラックベルト
足	軽業のブーツ
その他光のアミュレット	

装備品	説明
左手	宗匠の腕輪

その他メモ	自動失敗 チェック
セフィリア神聖王国より派遣されている部隊、「第13番派遣部隊・人里の盾」の隊長を務める男性。30歳目前という若さで、三百人規模の部隊を率いることが許される「三百人長」の階級を預かっている。	○□□□⑤
実力は確かなものであり、「ファイター10、プリースト(ライフォス)9、ウォーリーダー6、ライダー8」と言った高レベル技能を複数保有している、英雄候補の1人。(才能限界は13レベルまで)	○□□□⑩
副隊長のジル・レードとは幼いころから兄弟のように育った中であり、共に同じ相手から剣を習った弟子同士。ビターヌのほうが弟子にあたる。本来は姓も持たない貧民の出であり、蛮族の襲撃で両親を失った彼を当時のレード家の当主が偶然見つけ、家に迎え入れたという経緯を持つ。その後レード家の後援を受けて軍に入り、頭角を現して一部隊を任される程にまで成長した。	○□□□⑮
多くの武勲を上げながらも聖騎士叙勲を受けられなかったが、代わりにかつて戦で断絶してしまったという「ローンリア」家の姓を国から賜った。	○□□□⑳
国に対して忠義を持ち、敬遠なライフォス信者ではあるものの、元が貧民の出であるために聖騎士にはなれなかった。ただし本人はそのことを気にしておらず、拾って育ててくれたレード家と、そのレード家が仕えるセフィリア神聖王国に対して尽くそうと考えている節すら有る	○□□□㉕
	○□□□㉙
	○□□□㉚